

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛児園kids			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 14日		～	令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 14日		～	令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お琴やハンドベルの演奏や多種多様な活動に日々取り組んでいる事。	高齢者施設や保育園に行き、お琴やハンドベルの演奏を披露するボランティア活動をしている。	練習するにあたって、「今日は何を弾く？」などの計画性を持って取り組むようにしている。
2	子供たち個々に寄り添う時間を設けられている。	絵カードやホワイトボードを活用し、子供たちに活動の見通しを持ってもらう。	子供たちの得意・不得意な事を見極めて、チャレンジする機会を設ける。
3	宿題や遊びの活動の中で、利用者が自発的に取り組んでいる。	学習面においては分かりやすく指導し、理解できる喜びを味わってもらう。 遊びにおいては公園や室内など様々な種類を設けて、意思決定の機会を作る。	集団での活動の中で、1人1人が発言したり、自分の思いを伝えられるように機会を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	宿題や他活動の時間配分が子供たちのストレスになることがある。	進級や学習の難易度の向上により、宿題に時間がかかっている。	活動に対してスタッフ各自が適切に行動ができるように、個別支援計画の把握の徹底したり、場合によっては計画の変更などを行う。また、利用者によってはサービス提供時間の延長も検討する。
2	保護者会を設けられていない。	保護者同士、お悩みを話し合える機会を増やせたらと思う。	半年に一度、保護者会を設けたい。
3	活動への興味が無い子供へのアプローチが少ない。興味が無いこと、苦手なことにも取り組む機会があっても良い。	スタッフも知識や技術を向上し、苦手なことに対するアプローチ手段の引き出しを豊富にする。	社内研修を充実させるなどして、アプローチ術等を磨く。